

みさき

40号

美咲町議会だより

2015年5月10日発行

主な内容

ここが聞きたい今年の予算 ————— 2～5

3月定例議会の報告 ————— 6～9

議員15人が地方創生を問う ————— 11～26

みんなで議会を見学 ————— 27

大きく育て美咲のこども、さくらの下で華やぐ笑顔 (夢先谷広場)

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

● 27年度当初予算

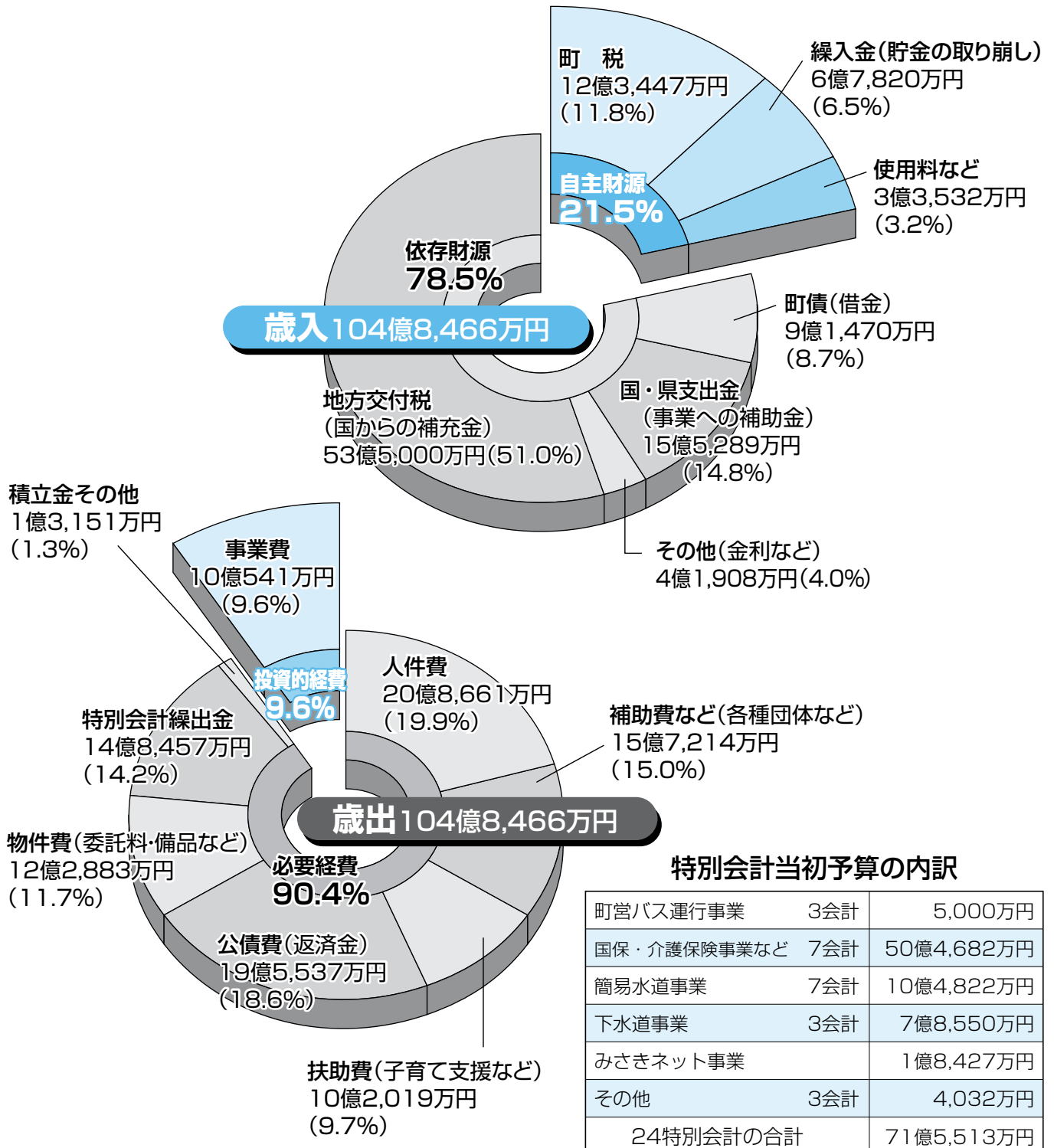
魅力あるまちづくりを目指して

一般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比4.4%増
前年度比5.8%増

一般会計
24特別会計

104億8,466万円
71億5,513万円



介護保険料の値上げ止むを得ずと判断

急激な高齢化による介護需要の増大、介護保険法の改正による受益者負担額の増加、介護施設の増設に伴う介護給付費の増加などにより、本来独立採算とすべき介護保険事業会計が大幅な財源不足に陥り、平成27年度～29年度の介護保険料の基準額を月額7,800円とせざるを得ないとの苦渋の選択を美咲町議会では判断し、承認しました。

◆県からの借入金累計額が8,910万円

平成24年度	平成25年度	平成26年度
2,500万円	累計 5,410万円	累計 8,910万円

美咲町介護保険事業特別会計の財源は、公費（国・県・町）50%、第1号保険料（65歳以上）21%、第2号保険料（40～64歳）29%で構成され、不足分を県からの借入金で賄っていました。今回の法律改正で第1号保険料が22%に増加し、さらに県からの借入金8,910万円を返済しなければならなくなりました。

◆第4期～第5期にかけて増加した介護施設

特養老人ホーム あさひが丘	特養老人ホーム 白寿荘	特養老人ホーム 吉井川荘	グループホーム 百	グループホーム 咲くら
29人増加	37人増加	20人増加	9人増加	18人増加

町内の高齢者介護施設の需要が高まったことから、町は平成21年度～25年度にかけて特別養護老人ホームなどの介護施設を128人分増加させました。その結果、介護給付費が急激に増加することになってしまいました。

◆各年度の介護保険料基準額の推移

介護保険3期計画	介護保険4期計画	介護保険5期計画	介護保険6期計画
18～20年度	21～23年度	24～26年度	27～29年度
月額3,901円	月額4,400円	月額5,390円	月額7,800円
年額46,809円	年額52,800円	年額64,680円	年額93,600円

合併当初から介護保険料の値上げは極力抑えてきていました。しかし、町内の高齢化の進展は予想をはるかに上回る結果となっており、現在の介護施設水準を維持するためには第6期計画における保険料の値上げは止むを得ないとの結論に達しています。

◆低所得者に対する配慮は十分に

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
55%減額	25%減額	25%減額	10%減額

介護保険料は所得に応じた負担となるよう9段階に分かれています。表の1～4段階が基準額を下回る場合の保険料の率になります。低所得者に対する配慮を十分に行うことを議会が承認する条件としています。

段階的な歳入減に備えた財政運用を

予算特別委員会

提出された議案を慎重かつ詳細に審議するため、各課から詳細な説明書の提出を受け、全議員で予算審議を行った。

27年度一般会計当初予算は104億8,466万円で、対前年度比4億4,027万円（4・4%）増加した。

歳入の主たるものは、町税、12億3,447万円を始めとし、地方譲与税、地方消費税、交付金、地方交付税、国・県支出金などとなっている。

歳出は、人件費・扶助費・公債費の義務的経費が50億6,217万円（対前年度比2%減）、このうち公債費が19億5,537万円（8・6%減）だが、物件費・維持補修費・補助費の消費的経費は28億5,306万円

（5・7%増）、投資的経費は10億541万円（44・4%増）となっている。

24特別会計は、独立採算制が基本だが、一般会計から多額の繰り入れを行っている。

大幅な税収の増加は困難で、25年度市町村決算に基づく健全化判断比率では、実質公債費比率は県下ワースト5位、将来負担比率は69・6%となっている。

徹底した行財政改革を推進しながら、少子・高齢化対策など、魅力のあるまちづくりに取り組み、地域住民のニーズに応えるよう求める。

知り得た知識を100%地域住民へお返ししていくことが職員の責務であることを指摘し、全会一致で27年度予算を承認した。

予算特別委員会

ここが聞きたい今年の予算

【総務課】

問 合併10周年記念事業である「押阪忍氏」の講演の経費は。

答 100万円計上しているが、金額は交渉中である。

【まちづくり課】

問 協働のまちづくり事業交付金が減額となっているが、行政として力を入れてもらいたいことは何か。

答 自治会長協議会で方向性を変え、食糧費を削減し、地域・人づくりに力を向けてもらう。

提案型まちづくりの補助金も小さな単位でも頑張ってもらえるように仕組みを変えること

とも検討している。

問 町の分譲地ではない新築住宅への補助金は。

答 固定資産税減免など制度を設けている。

問 防犯カメラ設置の場所は。

答 学校や警察などと協議しながら選定する。

【情報交通課】

問 黄福タクシー制度の中で介護タクシーの利用は可能となったのか。

答 黄福タクシー参入業者の了承は得ており、今後介護タクシー業者の意思確認をする。

【税務課】

問 マイナンバー制度の税に関する部分は10月1日からか。

答 10月1日からは住民課の住基カードを新しいカードに換える手続きに入り、交付は1月1日から始まる。

【住民課】

問 一部事務組合のゴミ処理の負担金、委託料が26年度と同程度で計上されているが、決算時に安くなるか。

27年12月以降から可燃ゴミを新クリーンセンターへ搬入するから、全体の予算は下がるのではないかと。

【答】 見込みの額で計上している。新グリーンセンター分は、実績がないので計画量である。

【こども課】

【問】 かめっこ保育園の空調修繕は予算額で可能か。

【答】 根本的な解決には不足するが、できる限り努力する。

【問】 乳幼児医療費については、こども課の方がいいのではないか。

今の体制では※ワンストップサービスとは言えない。

【答】 現状では、町民にとって便利が悪いと感じている。

【健康増進課】

【問】 中央地域は愛育委員と栄養委員を兼任しているが、活動はどのようになっているか。

【答】 それぞれの役割があるので負担が多い。別々に選出している。

もらうお願いをし、2地区は別々に選出された。

【保険・年金課】

【問】 国民健康保険の無受診世帯へ商品券を配布する事業廃止の理由は。

【答】 商品券2千円の効果がどれほどのものか検討し、廃止した。

【問】 介護保険料は、一律約7,800円に値上がりするのか。

【答】 所得に応じた段階がある。4月早々にわかりやすいパンフレットを作成する。

【問】 要支援1・2は介護保険から外れ、地域包括ケアシステムに移るそうだが、健康増進課が担当になるのか。

【答】 介護保険が大きく変わり、保険・年金課と健康増進課に分かれるが、要支援1・2は健康増進課になると思われる。

【産業課】

【問】 ピオーネの海外輸出事業が、減額になった理由は。

また、生産者の利益は上がるか。

【答】 過去2年の事業で培った販路を使うため。

流通ルートの経費が不要なため、市場手数料がかからない分を生産者に乗せできる。

【建設課】

【問】 繰越明許がかなりあるが、新年度予算が通ったなら入札はいつ頃か。

繰越を極力減らし、事業を進めるべき。

【答】 できる限り早急で努力する。

【議会事務局】

【問】 議会費が5・5%増になっている原因は。

【答】 国が指定しているもので、退職費

員共済年金への負担金が約600万円増加した。

【福祉事務所】

【問】 生活困窮者自立相談支援事業の職員は決定しているか。

【答】 生活困窮者のことをよく理解しており、経験もある人材である。

【問】 DVに関して1万5千円の補助金が出ているが、支援になっているか。

【答】 一時的に避難できる施設があり、措置費を組んでいる。

【教育総務課】

【問】 「つまずきサポート」事業の指定校は決まっているか。

【答】 学力テストの全体の結果で指定が決まる。

26年度は町内3中学校、加美小学校の4校が指定を受けた。

【生涯学習課】

【問】 中央、柵原地域で行っている総合

型地域スポーツクラブの助成金が1割減額の理由は。

【答】 財政的な問題もあり、活動の改善もお願いした。

夢咲クラブに126万円、スポレク柵原に183万6千円を予定している。

【旭総合支所】

【問】 みち停あさひの足湯の集客状況と管理状況は。

【答】 26年12月23日にオープンし、2月末の時点で597人の利用者があった。

【柵原総合支所】

【問】 自治会担当者の自治会への関わり方は。

【答】 補助制度などの相談に乗るなどしているが、全体との関わりはあまりない。



魅力あるまちづくりを目指して (みさき町民大運動会)

※ワンストップサービス
…さまざまな行政手続きをいっぺんに行えるサービス。「ワンストップ行政サービス」。

3月 定例会の 報告

3月4日から
3月24日まで

定例会が招集され、27年度一般会計など予算40件、条例14件、その他16件、要望1件などの議案が上程された。

補正予算

プレミアム
商品券に
2億円を計上

一般会計歳入・歳出に1億910万円を追加し、一般会計の総額を11億3,388万円とする。

また、みさきネット事業特別会計に1,004万円の増額を行うなど12特別会計の歳入歳出に913万円を追加するもの。

審議の結果、一般会計および特別会計ともに全会一致で可決、承認した。

◎一般会計補正予算

【主な歳入】

☆町税 4,923万円

☆国庫支出金

7,425万円

☆県支出金

△4,317万円

☆繰入金

△1億369万円

☆諸収入

1億6,000万円

【主な歳出】

★プレミアム商品券

1億9,790万円

★基金積立金

3,000万円

★災害復旧費

△5,992万円

★予備費

△4,514万円

条例の制定

条例の制定が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

**防犯カメラの設置
及び管理運用に関する条例**

町が設置する防犯カメラの適正な運用に際して撮影される者のプライバシーシーその他の権利を保護し、安全かつ安心なまちづくりを進めるため。

町税条例の一部改正

平成28年4月1日か

ら固定資産税の前納報奨金を廃止する。

**美咲町議会議員の
定数を定める条例
の一部改正**

今回の改選から議員定数を16人から14人に改正する。

**美咲町議会委員会
条例の一部改正**

次回改選からの定数減に伴い、現在の3常任委員会制を「総務産業常任委員会」と「民生教育常任委員会」の2常任委員会に改正する。

陳情・要望

民生教育常任委員会
へ付託

「生涯現役社会の実現」に取り組むシルバー人材センターへの支援の要望

美咲町

シルバー人材センター

会長 山本克彦

国からの補助を受け

る条件となっている法人化などの条件を満たすまで、今少しの段階まできており、賛成多数で**趣旨採択**とした。

美作岡山道路の建設促進を求める陳情（継続審査分）

山田 章
ほか10名

かねてからの念願である美作岡山道路の建設促進を求める陳情であり、賛成多数で**採択**とした。

美作岡山道路の建設について岡山県にルート再検討の働きかけを求める要望（継続審査分）

高規格道路をみんなで考える会

代表者 山田芳裕

現ルート案に対する不安要素については、解決策を模索しながら建設を進めるべきであり、賛成少数で**不採択**とした。

人事案件

**人権擁護委員の
選任**

人権擁護委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

任期は、ともに平成27年7月1日から平成30年6月30日まで。

美咲町南

西村 昌計氏
（再任）

美咲町中

岡田 洋子氏
（再任）



討 論

高規格道路「美作岡山道路」建設に関する陳情書及び要望書に対する討論

反対討論

三船勝之議員

美作岡山道路に関しては、地元飯岡地区の住民による結論が出ていない状況である。

この段階で議会が判断するのは時期尚早であり、地区住民の絆を分断することになり、結論を急ぐことで地区の混乱に拍車をかけることが懸念される。

ここは、今少し様子を見守るべくどちらとも継続審査とすべきである。

よって陳情書の採択および要望書の不採択に反対する。

賛成討論

松田英二議員

地元の話し合いが行われる中であつて、住民に対しては一方的な意見しか届いていない現状がある。

岡山県の考え方、美咲町の考え方、美咲町議会の考え方などそれぞれ

ぞれの意見を住民に説明していかねければならない。

そのためには、ここで美咲町議会の姿勢をはつきりと示す必要がある。その意味において陳情書の採択および要望書の不採択に賛成する。

賛成討論

延原正憲議員

地元の意向は、早期決着である。

陳情書・要望書をさらに継続審査しても地域の混乱は解決できない。

美咲町にとって何が重要か、議会として高所・大所から判断すべきである。

飯岡にインターチェンジを作り、それを起爆剤として地域発展に向け、みんなで知恵を出し合っていくことが大切である。

移転対象となる住民の多くは測量着手に協力することも確認している。

したがって、陳情書を採択および要望書を不採択とした産業建設常任委員会の審議結果に賛成する。



通行が開始された美作岡山道路佐伯～熊山間

「美作岡山道路の建設促進を求める陳情書」に対する採決の結果、賛成多数で採択とした。

岡田議員	賛成	山本議員	賛成	下山議員	賛成	松島議員	賛成	三船議員	反対	江原議員	賛成	金谷議員	賛成	岩野議員	賛成	松田議員	賛成	形井議員	賛成	延原議員	賛成	片山議員	賛成	左居議員	賛成	小林議員	賛成	林田議員	賛成
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

「美作岡山道路の建設について岡山県にルート再検討の働きかけを求める要望」に対する採決の結果、賛成少数で不採択とした。

岡田議員	賛成	山本議員	反対	下山議員	反対	松島議員	反対	三船議員	反対	江原議員	反対	金谷議員	反対	岩野議員	反対	松田議員	反対	形井議員	反対	延原議員	反対	片山議員	反対	左居議員	反対	小林議員	反対	林田議員	反対
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

総務常任委員会報告

61の公共施設を 指定管理業務で委託

総務常任委員会に付託を受けた条例4件、補正予算3件、辺地計画など10件について審議した結果、全議案を承認した。
なお、次の項目については意見を付した。



有効利用を期待します（境農村交流館）

○美咲町公の施設に係る指定管理の指定については、3年間の契約であり、その内容を十分精査するように各担当課と協議すること。
○町道管理で損害賠償の支払いが発生している。平素から危険箇所の情報収集に努めること。

■主な質疑応答

【総務課】

問 消防費の減額補助の内容は。

答 自主防災組織補助金の予算が余った。
今後は、一度補助を受けたら3年間は受けられない条件を緩和する。

問 消火栓設備の欠落・不備への対応は。

答 既設消火栓については、消防団を通じて連絡があれば、速やかに補てんする。

【情報交通課】

問 黄福タクシーの利用拡大策は。

答 妊婦も利用できるなど対象者を拡大し、介護タクシー事業者も参加可能とするなど制度を充実させる。

【税務課】

問 固定資産税前納報奨金制度廃止は28年度からか。

答 27年度は周知期間とする。

【まちづくり課】

問 企業誘致条例の改正案は、わかりにくい。改善が必要。

答 指摘を受けたところに訂正を加えて再提出する。

◆現地を確認

議案審議に関連して

- ☆旧中央4-3消防機庫
- ☆旧旭2-1消防機庫
- ☆旧旭4-1消防機庫
- ☆旧旭4-5消防機庫
- ☆旧旭5-2消防機庫
- ☆旧柵原3-3消防機庫
- ☆光ヶケール（連石）
- ☆公有財産取得（久木）を視察

民生教育常任委員会報告

地域包括ケアシステムの構築は重要な課題

民生教育常任委員会に付託を受けた条例8件、補正予算8件、要望1件について審議した結果、全議案を承認、要望については賛成多数で趣旨採択とした。

なお、次の項目について意見を付した。
○介護保険条例の改正については、介護予防事業の推進と、今後最大の課題である地域包括ケアシステムの構築に全力で取り組むこと。

■主な質疑応答

【健康増進課】

問 香花温泉ほほえみの湯のあり方を検討する必要がある。

答 修繕費がかさむので検討している。

問 大井和診療所の運営は大丈夫なのか。

答 交付税措置もあり、住民も必要としているので、医師の協力で当面継続していきたい。

【保険・年金課】

問 介護の人材育成事業で募集しても応募がないとのことだが、周知不足では。

答 職安を通じての就労促進事業であるが、津山で講習会を開催しても途中で中止になるなど手がない状況。

【教育総務課】

問 富田泰司教育福祉振興基金の26年

度事業の内容は。
各中学校にプロジェクターを5台、保育園にデジカメ・レコーダーなど、小中学校の教員に先進地視察・講演会費、食育活用のお食物フードモデルの購入など。

◇現地を確認

議案審議に関連して
☆高城最終処分場
☆藤原最終処分場
☆柵原クリーンセンター
ー(連石)
を視察



もうすぐ埋立てが完了する最終処分場（柵原クリーンセンター）

産業建設 常任委員会 報告

下水道事業費など5億2千万円を翌年度へ明許繰越

産業建設常任委員会

に付託を受けた補正予算5件、道路認定など4件について審議した結果、全議案を承認。継続審査としていた陳情は全会一致で採択、要望については賛成多数で不採択とした。

■主な質疑応答

【建設課】

問 ため池総合整備事業のハザードマップ作成対象は町内全部のため池か。

答 補助事業であり、町内全域のため池マップを作成したい。

問 27年度の美作岡山道路の負担金700万円は事業費分か。

答 県単独事業費の15%相当額を関係7市町で分担している。

【産業課】

問 新築木造住宅補助金の支給実績は。

答 20戸を予定していたが、実績は15戸の見込み。

問 有害鳥獣駆除の実績見込みは。

答 昨年実績が1,030頭（イノシシとシカ合計）で今年度は1,100頭を見込む。

【上下水道課】

問 合併処理浄化槽設置補助金減額の原因と設置実績は。

答 設置見込み47基の予定が実績33基

となったことが要因。

問 柵原下水道事業などで多額の繰越

明許が発生している原因は何か。

答 当初に計画していたものに変更せざるを得ない事業が発生したため。



やっと着工にこぎつけた塚角～大戸間道路改良（県道津山柵原線）

◇現地を確認

議案審議に関連して
☆県道津山柵原線改良工事箇所（塚角）
☆町道火田城中学線高
原橋工事箇所（下谷）
☆町道久木上高城線町
道認定箇所（久木）
を視察

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山圏域 資源循環施設組合

(津山市、鏡野、勝央、美咲町)
2月20日、定例会を開催し、監査委員に鷹取氏(奈義町)を選任。
26年度組合会計補正予算1億1,500万円、27年度組合会計予算32億3,636万円、など12議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域 衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)
2月24日、定例会を開催し、27年度組合会計予算5億4,915万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域 西部衛生施設組合

(津山市、鏡野、美咲町)
2月24日、定例会を

開催し、27年度組合会計予算2億5,110万円を審議、全会一致で可決した。この組合は、平成27年度末で解散となる予定です。



まもなく役割を終えるゴミ処理施設
(津山西部清掃センター)

津山広域事務組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
2月24日、定例会を

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
2月24日、定例会を開催し、27年度組合会計予算22億7,952万円など3議案を審議、全会一致で可決した。

津山地区 農業共済事務組合

(津山市、鏡野、久米南、美咲町)

2月24日、定例会を開催し、26年度組合会計補正予算減額4,735万円、27年度組合会計予算3億7,400万円など6議案を審議、全会一致で可決した。

久米郡養護老人ホーム組合(静香園)

(津山市、久米南、美咲町)
2月25日、定例会を

開催し、27年度一般会計予算1億5,855万円、27年度特別会計予算2,092万円など6議案を審議、全会一致で可決した。

勝英衛生施設組合

(美作市、西粟倉村、勝央、奈義、美咲町)
2月25日、定例会を

開催し、副議長に小阪氏(奈義町)を選任。
27年度組合会計予算1億1,700万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

岡山県中部環境 施設組合

(真庭市、美咲町)
3月23日、定例会を開催し、27年度一般会計予算3億2,996万円を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護老人ホーム組合

(赤磐市、美咲町)
3月26日、定例会を

開催し、26年度組合会計補正予算減額236万円、27年度組合会計予算3億3,905万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

柵原、吉井、英田 火葬場組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
3月26日、定例会を

開催し、27年度組合会計予算1,635万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

一般質問

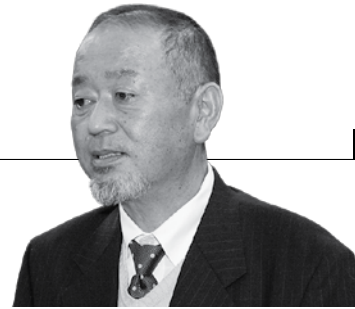
議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

町政を問う

議員名	掲載ページ	質問内容
林田 実	12ページ	1. 三世帯同居の推奨で定住促進を
下山 和由	13ページ	1. 新年度に向けての町政を問う 2. 新クリーンセンター稼働への対応は 3. 愛育・栄養委員選出の見直しを
三船 勝之	14ページ	1. 人口減少問題にどう取り組むか 2. 道徳教育のさらなる推進を 3. 高齢者の持続的な見守りを
形井 圓	15ページ	1. 地域創生への提案は検討したのか 2. 要望に対し早急な回答を 3. かねての要望に至急対応を 4. 財政の予測はできているのか
左居 喜次	16ページ	1. 合併10年 今後の課題と対策は 2. 自主防災組織の活性化策は 3. 定住促進策に町内PRバスの運行を
金谷 高子	17ページ	1. 地方創生 美咲町の総合戦略は 2. 使いやすいプレミアム商品券を 3. 地域住民に細やかな配慮を
松島 啓	18ページ	1. 町全体で住民の健康づくりを 2. 若者の意見を町政に生かせ 3. 新たな自主財源の確保は
江原 耕司	19ページ	1. 「家族の絆プロジェクト」へ協力を 2. 本庁舎周辺整備を望む 3. 集会施設の建設が必要では 4. 遅れている町道着工を急げ
岩野 正則	20ページ	1. 図書館の利用率アップに工夫を 2. 分譲地の価格見直しで早期完売を 3. 特産物の価格引き上げに努力を
延原 正憲	21ページ	1. 公共交通機関の利便性の改善策は 2. 美作岡山道路建設に対する町の基本姿勢は
松田 英二	22ページ	1. 学校施設耐震診断再調査の考えは 2. 柵原地域の学校施設再編成に対する方向性は
片山 剛	23ページ	1. カワウ駆除補助金の協議は進展したか 2. 近隣に倣い地域おこし協力隊の導入を
岡田 壽	24ページ	1. 農林業分野の振興計画を急げ 2. 農地基本台帳の整備はどうなっているか 3. 政治やテロが道徳に影響するのでは
山本 宏治	25ページ	1. 旭・柵原総合支所業務の見直しは 2. 職員の安全も考慮した防災体制を 3. 町長も支所勤務をしてみても
小林 達夫	26ページ	1. 明るい通学路で将来ある若者を守れ

三世代同居の推奨で 定住促進を

一つの要素として 期待している



問

少子高齢化の危機に直面し、全国の自治体でも定住促進の取り組みがなされている。これといった解決策が見えたらず困惑しているようだ。

本町では定住促進を最重点施策とし、乳幼児医療の無料化などさまざまな取り組みが行われており、議会でも定住対策特別委員会を設置している。

定住促進にはさまざまな複合的な取り組みが必要である。

その中でも古き良き時代の三世代同居の効果を考えてみる価値があるのではないか。

答

長 畑尾まちづくり課

本町での三世代同居の割合は10・35%である。

三世代同居の効果を認め、助成制度を設けている自治体もあり、国が示している地方総合戦略の参考例にも三



昔ながらの楽しい我が家

世代同居が挙げられている。

三世代同居の効果を検証し、他の施策との関連性や制度の持続性を踏まえながら美咲創

答

稲谷こども課長

生総合戦略推進本部の中で検討していきたい。

「子どもたちを育てる良い環境を確保でき

答

桑元保険・年金課長

「経済的負担が軽減できる」「児童虐待の抑止力になる」などのメリットが考えられる。

答

村瀬会計課長

子育てをしながらの共働きが可能であること、小さな社会として最初に子どもが経験する三世代家族は大変ありがたいものである。

答

木谷教育総務課長

文部科学省の白書でも、三世代同居における家庭教育が子どもの生活習慣、情操教育、思いやり、社会的マナーなどを身につける場として重要な役割を果たしていると報告されている。

答

畠本産業課長

ち短期間での作業が必要な兼業農家は82%を占めている。

農繁期の植えつけ、防除、収穫などに要する労力が増え、短期間での作業が可能になるのではないかな。

また、新たな特産物などの作付けが期待できる。

答

定本町長

振興計画の中でも最重要施策として定住促進を挙げている。

定住促進にはいろいろな要素があるが、その中でも三世代交流は大きな力を発揮する。

地方創生という新たな言葉が生まれ、国も地方の総合戦略にかなり期待している。

地方戦略に十分乗り、知恵を出し、発揮していきたい。

学校関係の支援、保育園関係の支援など、複合的な定住促進をやっていく。

町政を問う

一般質問

下山和由 議員



新年度に向けての 町政を問う

質問

人口減少食い止めに 力を入れる

答弁

問 本年は、合併10周年の記念すべき年でもある。

何か記念事業など考えているのか。

答 難波総務課長

記念事業として、4月26日に中央運動公園総合体育館で地元ゆかりのある「押阪忍夫妻」に記念講演を依頼している。

また、5月9日には、中央運動公園総合体育館で記念式典を予定している。

答 鈴鹿生涯学習課長

各地域にゆかりのある偉人に関する方の講演会（中央Ⅱ本田増次郎、旭Ⅱ岸田吟香、柵原Ⅱ山田方谷）を考えている。

また、スポーツ関係では、5月にエイコンスタジアムで合併記念招待試合を計画し、大阪桐蔭高校、尼崎高校、関西高校の3チームによる試合を予定している。

問 美咲町史の発行に際しての配布方法など今後どのように取り組むのか。

答 鈴鹿生涯学習課長

町史編さん室を設け、発行に向けて準備している。

内容は、民俗編、地区誌編、資料編、通史編に分けて進めている。平成32年の通史編発刊により完成する。

金額は未定だが、購入してもらおうように考えている。

問 災害のないまちづくりについて今後どう取り組むのか。

答 矢木建設課長

第二次振興計画および地域防災計画に沿って、防災・減災に対する各種の取り組みを推進している。

問 人口減少の歯止め対策として今後の取り組みは。

答 長 畑尾まちづくり課

これまで、東京、大

阪で子育てにやさしい町美咲町として定住促進のためのPRも積極的にを行った。

27年度は、美咲町地方創生総合戦略を策定する。若い世代の結婚、出産、子育ての希望を叶える施策が重要なテーマとなる。

新クリーン センター稼働への 対応は

問 新クリーンセンター稼働に向けて、住民への周知など対応はできているか。

答 高田住民課長

町内の環境衛生協議会、自治会、婦人協議会、老人クラブ、商工会、PTAなどから15人の委員を選出し、「美咲町環境審議会」を設立して、これまで2回の審議会を実施した。

細部の資料ができ次第、各地域に出向いて説明会を実施する。

愛育・栄養委員 選出の見直しを

問 愛育・栄養委員の各地区での選出が非常に負担になっている。

高齢化や限界集落などの現状があり、選出の対応が困難である。

選出方法について見直しはできないか。

答

村島健康増進課長

健康づくりは女性が担当する認識が強い中で、近年町内でも男性が選出されている地域もある。

長野県松川町では健康推進委員の名称で男性委員も多い。

町民の認識を変えつつ健康づくりを考える場を提供していきたい。



お世話になります（勢揃いした愛育委員の皆さん）

人口減少問題に どう取り組むか

町政を問う

一般質問

三船勝之 議員

本町の魅力発信に 力を入れる



問

地方創生会議が設立され、具体的な事業計画も出てくるだろうが、人口減少対策が最重要課題である。

次の状況はどうか。

①結婚による転入・

転出

②都会からの転入・

移住

③総務省と移住・交流推進機構が開催した

東京でのイベントに参加したか。

加したか。

答 長

①転出は、結婚、就職、転職、進学の順に多い。

転入は、親との同居、結婚、田舎暮らしを希望、充実した子育て支援の順である。

②移住の正確な数字は把握していない。

転入は、25年のデータだが、岡山県内からが多く、次いで大阪、兵庫、東京の順であった。

③イベントには参加していないが、岡山県が主催する東京・大阪での移住相談会やフェアには5回参加し、本町のPRに努めている。

以上の状況の中で、まず空き家などの情報バンクの充実を図り、

県の補助がなくても、取り組んでいく意

図る。

県は補助がなくても、取り組んでいく意

図る。

図る。



ええとこですよ 美咲町（東京の移住相談会）

気込みがなければ、地方創生会議も実らないのではないかと。

答 定本町長

情報発信は遅れていると実感しており、補助が出る地方創生に絡めて情報の発信を考えていく。

道徳教育のさらなる推進を

問 全国では、未成年が犠牲になる痛ましい事件が起きているが、道徳教育の強化についてどう考えるか。

答 副読本を使い、自分の生き方・夢から始まり、友だち、家族、社会などへ広げる内容の道徳を週1時間指導している。

町の教育振興基本計画の中にも位置づけ、特設時間として指導しているが、文部科学省が平成30年度から教科として設定することになっている。

高年齢者の持続的な見守りを

問 平成37年には認知症の人口が約700万人に達するという推計が厚生労働省から出された。

日頃から、高齢者の健康などをしっかりサポートし、集団健診などにも積極的な取り組みが行われているが、認知症に関して、何か対応を考えているか。

答 村島健康増進課長 岡山県のホームページに認知症高齢者数の推計が載っており、美咲町は、27年度572人と推計されていたが、実態の方が少し多いと判断している。国のプランに基づき、認知症への理解を深めるための普及啓発を推進している。

また、かかりつけ医の先生や指定病院との連携で初期支援を行うよう考えている。



地域創生への提案は 検討したのか

質問

可能なことから順次 実行している

答弁

問

26年12月定例会で、地域創生について次の提案をしたが、どのように検討したのか。

①町内で住宅を新築した人への固定資産税減免などの補助制度。
②留町奨励金増額および三世代同居に対する支援策。

③協働のまちづくり事業へのしつかりとした助成。

④町と関係諸機関による本町のあり方を検討する場を作っては。

⑤安心して職務に専念できる職場づくりを（嘱託職員に関して）。

⑥避難施設への告知放送、テレビの設置。

答

長 畑尾まちづくり課

①固定資産税助成措置をしている。

②地方創生総合戦略策定時に検討したい。

③自治会長と協議の上、減額とした。

④総合戦略策定の中

で、基本方針や施策に住民、関係団体、民間事業者など幅広い意見を反映させるため推進会議を設置し、審議を行っていく。

定本町長

答

⑤嘱託職員制度は他の町村より優遇している。

⑥有線が切れることも想定され、有事にはラジオを設置するなど考えている。

要望に対し
早急な回答を

26年度の地域からの要望状況、回答状況は。

問

現地など確認し、早急に回答すべきでは。

難波総務課長

93件の要望書が提出され、50件完了し、43件が検討中である。

答

全要望のうち建設課への要望は62件で、20件が完了している。

定本町長

昨年より回答が

遅れているが、早期に回答できるよう努力する。

かねての要望に
至急対応を

問

国道53号線から小原駅への町道改良についての要望が小原地区から出ている。

現在実施されている国道改良工事と平行し

すべきではないか。また、小原駅への案内看板を設置すべきでは。

答

矢木建設課長

用地の了承も得ているので27年度に実施したい。

答

岡部副町長

看板は、道路を整備するタイミングでできないかと考えている。

財政の予測は
できているのか

問

今後10年間の財政予測測は。

特に、国民健康保険、介護保険事業の予測は。

答

難波総務課長

合併特例法の期限が到来し、今後5年間をかけて交付税が減額されていく。

新たな地方創生に係る交付金などあり、現時点で今後の見通しを立てるのは難しい。

答

桑元保険・年金課長

国民健康保険は、平成30年度から岡山県を一括保険者とする計画があるが厳しい状態が続くと思われる。

介護保険は、3年ごとの見直しの時期に安定するように進めていきたい。

問

合併特例債の延長が可決されてから3年も経過した。今頃変更計画書が出るのはなぜか。

答

長 畑尾まちづくり課

答

5年間の延長のため、計画期間の変更に伴う整合性を図る部分だけ変更した。

改良が待たれる小原駅前の町道



改良が待たれる小原駅前の町道

合併10年 今後の課題と対策は

連携の効果を 発揮できる体制に



問

美咲町が誕生し、10年が経過しようとしている。

今日まで各種の施策を実施してきて、合併してより効果が得られたこと、また現状の課題と解決策を福祉・子育て関連でそれぞれ示せ。

答

稲谷こども課長
効果としては、

合併で生まれたスクールメリットにより、子育て世帯への経済的負担の軽減を図り、支援ができています。

また、課題の一番大切なものとして、子どもの安全確保を考えている。

対策として、地域と家庭、行政が連携した防犯に対する意識啓発や地域住民の自主活動の促進など地域全体で子どもの安心・安全を守る環境づくりを推進する。

答

桑元保険・年金課長

保険・年金課では、専門の技術を持った職員との連携はプラスであった。

また、社会福祉協議会も合併され連携されたことで、福祉のサービスも水準が均一化された。

今後は、医療との連携を高めながら、地域包括ケアシステムの早期の確立が必要である。

答

定本町長

経済危機対策による補助金があり、合併当時立てた健全化計画と比較すると、はるかに改善された。

今後も一番には財政の健全化に努めるが、数字ばかりにとらわれず、バランスを考え、住民サービスを行っていく。

問

自主防災組織の 活性化策は

自治会での防犯カメラの設置に関して、運用方法について

は特に注意が必要である。

要綱の内容はどのようなものか。

また、カメラの設置は補助的なもので、本来に必要なものは地域の連帯であり、見守りに類するものだと考えている。

答

自主防災組織が大きな力を発揮すると思うが、今後組織率の向上、活性化などへの対策は、
稲尾まちづくり課長

防犯カメラは、岡山県が示しているガイドラインに沿って交付要綱を整備し、整備ができた自治会長を通じて周知する。

答

難波総務課長

自主防災組織に関連して、地域の連帯感の醸成、相互扶助の気持ちで育てていくことが基本と考えている。
今後、結成の呼びかけ、活動の応援をしていきたい。



みさきめぐり：国指定重要文化財 岩間山本山寺本堂

定住促進策に 町内PRバスの 運行を

問

現在、町史編さんが進められている中で、美咲町の歴史、文化を後世に残し伝えようとしている。

現在ある美咲町の姿を町内外の皆さんに知っていただければ、定

住促進にもつながるのではないかと。

見て、聞いて、巡って体感できるPRバスを運行してみてもどうか。

答

遠藤情報交通課長

定時運行は難しいが、年に数回程度、人員を募集し、運行する形で実施すれば、可能ではないかと思う。

町政を問う

一般質問

金谷高子 議員



地方創生 美咲町の総合戦略は

質問

効果的で持続可能な 施策を進める

答弁

問

人口減少に歯止めをかけ、地域活性化を目指す「長期ビジョン」と「総合戦略」

の策定に向け、これより各地域で地方創生への取り組みが本格的に始動する。

国は、まち・ひと・しごと政策5原則を出している。

都市農村型交流・地域仕事支援・大学を卒業して地元に戻って就職する人に奨学金の一部を町が返済・子育て世代の包括支援センター・小さな拠点の形成など、美咲町流で行ったらどうか。

また、小規模市町村に対しては国家公務員、大学研究者などの人材派遣を国が支援する制度がある。本町にこの制度を利用する考えはあるのか。

答

畑尾まちづくり課長

第二次振興計画との整合性のもとで基本目

標を定め、効果的で持続可能な施策を進めていきたい。

奨学金については、取り組みをしている市町村もある。

できる限り、効果があがるような施策を考えていきたい。

答

稲谷こども課長
妊娠中から子育て



プレミアム商品券は登録店で

て期までの相談窓口を1つにするため、国が27年度までに子育て世代包括支援センターを全国150市町村に設け、その後も増やす方針である。

本町には子育て支援センターが町内3カ所にある。

子育て世代包括支援

センターの整備については、今後十分調査研究していく。

答

定本町長

人材派遣は、派遣期間が1〜2年と短いため申請しない。

各担当課の課長で組織した「みさき創生総合戦略推進本部」で、5原則に沿った本町に合う戦略を練ることができるものと確信している。

使いやすい プレミアム 商品券を

問

国が進めている地域限定でお得な買い物ができるプレミアム（割増）商品券について

①商品券は、町独自か。
②プレミアムの率は。
③個人での購入可能金額は。

答

畝本産業課長

①商工会が発行するが、現行の500

円の商品券とは区別し、額面千円券で発行する。

②プレミアム率は20%と考えており、1万円購入で2千円割増がある。

③個人への販売は、1万円単位で、最高5万円を限度とする。

地域住民に 細やかな配慮を

問

合併して10年、周辺部は人口減で高齢化も進み深刻である。

地域住民に行政サービスの周知が徹底していないことも考えられる。

地域の課題を受け止め、行政サービスの周知について出前講座はできないか。

答

定本町長

かなりきめ細やかにできているように感じている。

まだまだ不足があれば検討の必要がある。

町全体で住民の健康づくりを

地域での取り組みに支援したい



問 町民の健康づくりに向けた取り組みは。

①国保の特定健診の受診率が横ばいだが、向上への取り組みは。
②本町の健康寿命は他市町村と比べてどうか。

③介護予防、コロボン公民館の今後の展開は。

④若年層から健康に對しての意識と知識を高めることが重要であるが町の施策は。

⑤国保のレセプト（診療報酬明細書）などのデータを活用するべきではないか。

⑥各自治会単位、さらには、町民全体で積極的に健康づくりができるような支援が必要ではないか。

答 桑元保険・年金課長

①近年の受診率は、34%前後で、県内では12番目である。人間ドックの受診も含めて、愛育委



コロボン体操で延ばそう健康寿命

員の協力を得ながら、広報していきたい。

答 村島健康増進課長

②本町の健康寿命は、男性が78・2歳で県内では最下位。女性が83・4歳で下から5番目である。

③コロボン公民館

は、介護保険法の改正で27年度から総合事業として、さらに広がる取り組みをしていきたい。

④健康教室などを消

防団や各種団体と取り組みたい。

また、運動に積極的に参加できる健康ポイント制度を企画している。

⑤健診・医療・介護のデータを分析して、活用したい。

答 畑尾まちづくり課長

⑥地域の健康づくりに、協働のまちづくり事業の交付金を活用していきたい。

若者の意見を町政に生かせ

問 持続可能なまちづくりを行うためには、これからの町を支えていく若い世代の意見を聴く場が必要ではないか。行政懇談会の手法も含め考えてはどうか。

答 定本町長
若い人が中心となつて、町民大運動会、30歳の成人式、婚活イベント、美咲まちおこしプロジェクトなど、斬新な発想で企画・実施していただいている。しっかりと協力していきたい。

また、若い人との懇談会なども考えてみたい。

答 高田住民課長
②27年12月から町内統一したごみ袋となる。スポンサー広告など検討したい。

新たな自主財源の確保は

問 27年度から段階的に交付税が減額される。

歳出の削減と共に、

新たな自主財源の確保が必要ではないか。

①公共施設、遊休地を利用した太陽光発電など考えてはどうか。

②一般廃棄物のごみ袋にスポンサー広告を募集してはどうか。

③香花温泉ほほえみの湯は、各種スポーツ大会、福祉の行事などに割引券を配って利用促進を図ってはどうか。

答 畑尾まちづくり課長

①公共施設を利用した太陽光発電は、諸問題があり考えていない。

答 村島健康増進課長

③香花温泉ほほえみの湯への割引券配布は、施設規模など課題がある。

利用促進に向けしっかりPRしていきたい。



「家族の絆プロジェクト」 へ協力を

質問

広報紙や告知放送で PRしていく

答弁

問 23年3月の東日本大震災では、身元確認作業に歯科医師の活動が大きな役割を果たした。

岡山県歯科医師会

は、歯科医師、医療機関を受診していない地域住民を対象に歯の記録をとり、大規模な災害時の身元確認に役立てる「家族の絆プロジェクト」を計画している。

町として計画に協力の考えは。

答 村島健康増進課長

県の企画を受け、津山歯科医師会でも歯の記録、登録会を無料で開催する。その情報を27年2月、3月の広報紙や告知放送でお知らせしている。

本庁舎周辺整備を望む

問 役場本庁舎や亀甲駅周辺に空き家が増えているが、町として整備する考えはな

いか。

また、災害に備えての防火水槽に関するJ

Rとの交渉は進展しているか。

答 長 畑尾まちづくり課

26年11月に空き家対策特別措置法が公布され、27年2月には、基本方針、基本指針が発表されている。

その中で、町の役割が明確にされており、必要に応じた協議会の設置や空き家の把握、空き家等対策計画の策定などである。

現在自治会長から470軒を超える空き家の情報を得て、調査を行っている。

それらを踏まえ、空き家の利活用の方策など設置予定の協議会で協議しながら検討していきたい。

答 難波総務課長

防火水槽に関するJ Rとの交渉には時間を要したが進展して

おり、27年3月末完成予定である。

集会施設の建設が必要では

問 本町の中心である原田地区には多

人数の集会施設がなく、林業センターも築後数十年が経過している。

地方創生交付金を活用し、新たな建物の建設が考えられないか。

答 定本町長

地方創生交付金は、「地方消費喚起や生活支援を目的とした交付金」と「地方版総合戦略の早期かつ有効な策定・実施のための交付金」から構成されている。

その目的の中には建物など普通建設事業は該当しない。

新たな建物については、第二次振興計画や公共施設等の総合管理計画、美咲町版総合戦略などを照合し、目的

や用途を十分に検討しながら協議していく。

遅れている町道着工を急げ

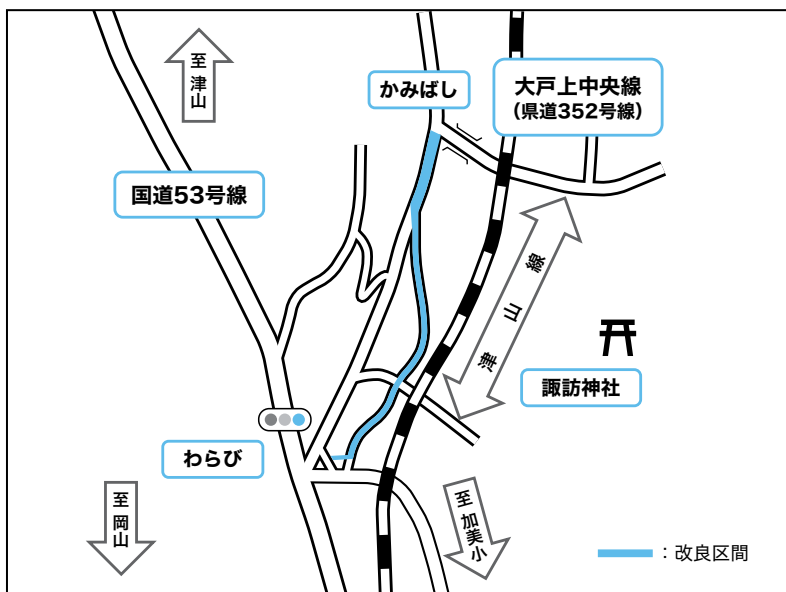
問 町道今風呂榎本線の堤防を兼ねた工

事、加美小学校通学路加美橋から藁尾の信号までの工事は、26年度着工予定であったがいつになるのか。

答 矢木建設課長

町道今風呂榎本線の災害時に対する堤防を兼ねた工事は、路線の詳細設計を行っており、終了後用地買収を経て、工事へ着工する。

加美小学校通学路は、27年度から地元協議に入り、順次進めていく。



加美小通学路の早期着工を!!

図書館の利用率アップに工夫を

町政を問う

一般質問

岩野正則 議員

答弁

問題点を洗い出し 検討を進めている



問

本町の図書館は祝祭日、休日に休館日が多く、貸出冊数が少ないが、休館日の変更ができないか。

また、イベントなどを組み合わせて利用者を増やす努力を。

答

鈴鹿生涯学習課長 図書館規則により、毎週月曜日など、年間100日前後の休館日がある。

現在、嘱託職員は7人だが、開館日数を増やすことは費用、代員の問題がある。

各図書館では、絵本の読み聞かせなど行う会を月1回、図書館祭りも年1回開催している。

利用者は登録者数で比較すると、前年度比5%増加、年間貸出冊数は5冊前後増加している。

問

利用率が多い図書館は、休館日も少ない。

利用を増やすために

答

は、休館日の見直しをし、利用される図書館にすべきでは。

鈴鹿生涯学習課長 図書館司書は、

毎週火・水・木曜日に学校図書室へ勤務しており、その間は代員を頼んでいる。

図書館運営協議会や図書館司書と現状の問題点を洗い出し、検討を進めている。



買って下さい町分譲地

分譲地の 価格見直しで 早期完売を

問

分譲地の26年度販売実績と今後の計画は。

価格見直しによる早期販売で、借金を減らすべきではないか。

答

煙尾まちづくり課長

26年度の販売実績は次のとおり。

中央地域うたのしも団地（1期、2期）	13区画
中央地域小原団地	1区画
柵原地域王子団地	1区画
柵原地域大戸下団地	1区画
売上合計金額：6,555万5千円	

答

定本町長 日当たりなどの条件が非常に悪い区画については、早期販売のために、27年度から価格の見直しを考えている。

特産物の価格引き上げに努力を

問

特産物農家の育成のため、販売価格の引き上げなど工夫が必要ではないか。

答

畝本産業課長 J A つやま管内の津山地区ニューピオーネの推進大会で販売単価の説明があった。

昨年は記録的な日照不足にも関わらず、前年対比でハウス物が微減、露地物が微増と大変健

闘していると言える。黄ニラは部会が中心となり、各イベントに出店している。毎回完売し、生産量の拡大が急務となっており、有利に販売できるように推進する。

問

27年度当初予算に計上されている「特殊加工品開発6次産業化導入事業100万円」の事業内容は。

答

畝本産業課長 チャレンジ支援タイプ（20万円）と町内産農林水産物使用促進タイプ（10万円）があり、それぞれ補助金が出る。

26年度からの事業で、5件の取り組みがあった。

問

トップセールスとしての町長のさらなる取り組みの考えは。

答

定本町長 東京大田市場への出荷を増やし、販売促進に努める。



公共交通機関の利便性の改善策は

質問

黄福タクシー制度の充実を図る

答弁

問

美咲町第二次振興計画では公共交通機関の利便性の悪化が指摘されているが、この改善策として導入した施策が、黄福タクシー制度なのか。

今後の運用方針を問う。

答

遠藤情報交通課長 26年度から町内全地区で運用開始した黄福タクシー制度については、26年12月末現在で1,255人が登録、1万1,945回の利用実績があり好評である。

妊婦も利用できるよう対象者を拡大し、福祉タクシー業者も参入可能とするなど制度の充実を図る方針である。

問

津山・高下間の民間バスの利用が非常に低調であり、減便および路線短縮を危惧している。

沿線住民の利用促進努力が必要であるが、別路線の共同バス（星

のふる里バス）との料金格差も利用低迷の要因となっているのではない。

利用拡大策、または共同バス化は検討しているのか。

答

定本町長 この民間バスに

は赤字補てんとして地方バス路線運行維持補助金を年間1,100万円支出している。

利用拡大には、地元の要望を十分聞いて対応したい。

共同バス化および利用料金については、津



みんなで乗って残そう民間バス

山市との協議も必要となる。

美作岡山道路建設に対する町の基本姿勢は

問

岡山県が提示した現ルート案に対する町の基本姿勢と、柵原インターチェンジ設置の意義を問う。

答

定本町長 これまで一貫して説明しているところ、平成15年6月の県議会土木委員会で承認され、当時の関係8町の期成会で賛成した現ルート案での建設促進を要望していく方針に変更はない。

飯岡地区に計画されている柵原インターチェンジは、美咲町にとって絶対に必要な施設である。

問

家屋補償29戸のうち移転が必要となるのは24戸の見込みであり、一部高架に変更に16戸に減少する。

このうち少なくとも12戸の住民は、ルートの早期決着を求めている。

道路建設は県の事業であるが、道路の恩恵を受けるのは地元である。

インターチェンジを起爆剤として、地域活性化の夢を地域住民とともに考えてほしい。

このままでは、平成37年全線開通の計画が遅れるのではないかと危惧している。

答

定本町長 この道路は、飯岡地区、柵原地域ばかりでなく美咲町全体にとっても重要な道路と考えており、今後も早期完成を積極的に求めていく。

※黄福タクシー制度：本町独自の制度で、町内に在住する高齢者、障がい者、妊婦など一定の条件を満たした人がタクシー料金を割安で利用できる。

学校施設耐震診断 再調査の考えは



懸念材料を含めて対応を 検討する

問 美咲町教育委員会は、平成19年度で町内学校施設の耐震診断調査を実施した。

その結果、各学校施設に耐震を考慮した施設整備が行われたが、柵原中学校と加美小学校の一部施設に補強工事が施されていないのはなぜか。

答 木谷教育総務課長 柵原中学校校舎棟と管理棟についての調査結果は、必要耐震性能を満足していると判定されていた。加美小学校管理棟は平成10年に行われた調査での数値が有効と判断されたものである。

問 前回の耐震診断調査から8年の歳月が経過する。コンクリートの劣化、鉄筋の腐食など基本的な建物の構造自体に老朽化が進んでいる。

再度の耐震診断調査を実施して正式な数値を示す考えはあるのか。

答 泉教育長 指摘の件については懸念を抱いている。関係機関と相談しながら今後の対応を検討していきたい。

柵原地域の学校施設再編成に対する方向性は

問 柵原地域の小・中学校施設は完成してからそれぞれ20年、40年が経過する。今後、給食調理場も含めた施設の老朽化に対応するために多額の予算を投じる必要に迫られる。

大ざっぱに計算して約20億円近い予算を使って老朽施設の改修を行うのであれば、全ての施設を一体的にまとめ、小・中一貫校も視野に入れて新築するという方向性を検討したことはあるのか。

答 泉教育長 柵原地域の小・中学校施設の老朽化、

給食調理場の保健基準が適合できなくなっているのは事実である。

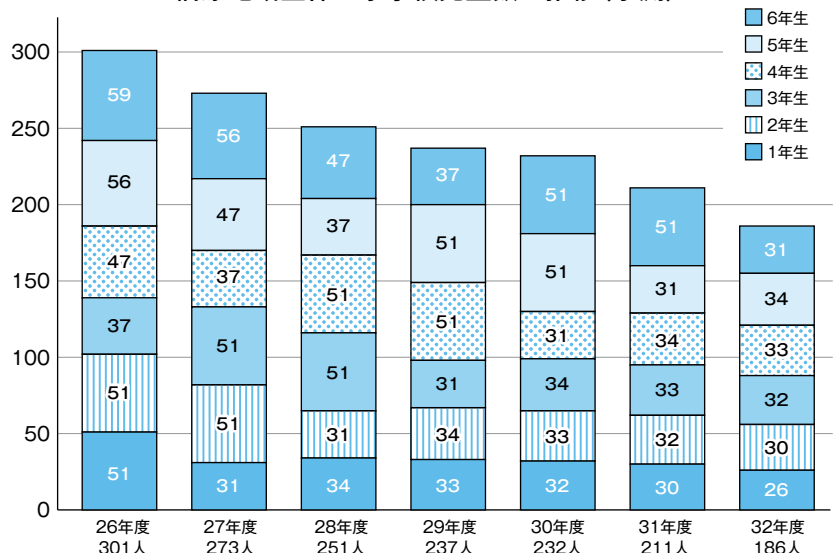
柵原中学校区PTA協議会からも中学校の改築要望がアンケート結果と共に届いている。

教育委員会において結論を出す状況には至っていないが、関係各方面と協議を繰り返して、柵原地域の学校施設のあり方についてどのように進めるべきか検討を進めていく。

問 教育委員会の資料によると、柵原西小学校と柵原東小学校に在籍する児童の総数は、平成26年度で301人。これが平成32年度になると186人まで減少することが予測される。

今後、柵原地域の学校施設再編成を考えていくとするならば、地方創生、合併特例債の延長などの条件が整った今後5年間で、検討委員会を設置して

柵原地域全体の小学校児童数の推移(予測)



答 定本町長

柵原中学校区のPTAから提出された柵原中学校校舎についてのアンケート結果によると、「別の場所に新校舎を建設する」こと

協議を進めるべきと思うが町長の考えはどうか。

いずれは建て替えるければならない施設であることを視野に入れながら、場所の議論などまずは環境調整を先に進めるべきであり、検討委員会の設置は時期尚早と考えている。



カワウ駆除補助金の協議は進展したか

質問

広域的な会議に諮り検討する

答弁

問

26年9月、12月定例会で、カワウ駆除についての質問を行った。

近隣市町村とカワウ駆除の補助金について協議するとの答弁であったが、協議はできたか。

答

畝本産業課長

津山市、久米南町は補助金の考えはないとのことであった。

本町では、駆除実施隊の会議に諮り、判断を仰ぎたい。

答

定本町長

津山支部猟友会に諮り、広域的な駆除の方法を考えていきたい。

問

27年1月、中四国9県と国がカワウに関する会議を行った。

また、2月には、県がカワウ対策協議会を立ち上げた。それらに関して、本町の動向は。

答

畝本産業課長

状況を調べ、協議会参加について前向きに検討していく。

近隣に倣い地域おこし協力隊の導入を

問

近隣の津山市、美作市、久米南町などでは、^{*}地域おこし

協力隊が実施されている。また、県内には12市町村、55人の地域おこし協力隊が活動している。

答

長 畑尾まちづくり課

地域おこし協力隊導入の目的は、都市から来て地域に住んでもらい、起業、就業の後、定住してもらうものである。

協力隊の期間終了後、6割弱の人が定住しているようだが、起業、就業、地域との関係などの問題で、地域を離れる場合もある。

本町では、集落支援員を26年度から導入している。

地域おこし協力隊については、地域住民、自治会との議論をさらに深めながら、導入の是非、目的などについて一定の結論を出していきたいと考えている。

答

定本町長

制度の導入が目

的ではなく、本町で何をしようかが一番の目的と考えている。自治会に、地域おこし協力隊と集落支援員に関するアンケートを実施した。

結果は、集落支援員の導入を望むものであった。

それに基づき、現在2人の集落支援員を導入している。

今後、地域に定住してもらえよう制度が整えば、地域おこし協力隊の導入も検討に値する。

※地域おこし協力隊
…人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってほしい、その定住・定着を図ることで意欲ある住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度



今後も増え続けるカワウ

農林業分野の 振興計画を急げ

町政を問う

一般質問

岡田 壽 議員

今ある計画を 28年度で見直す



問 町の基幹産業は農林業である。福祉、教育の分野では総合計画、基本計画が立てられている。

農林業分野も同様の計画を立て、周知し、振興を図るべきと考えらるかどうか。

答 農林業の振興策は平成22年の農業振興地域整備計画で、土地利用、整備計画を実施している。

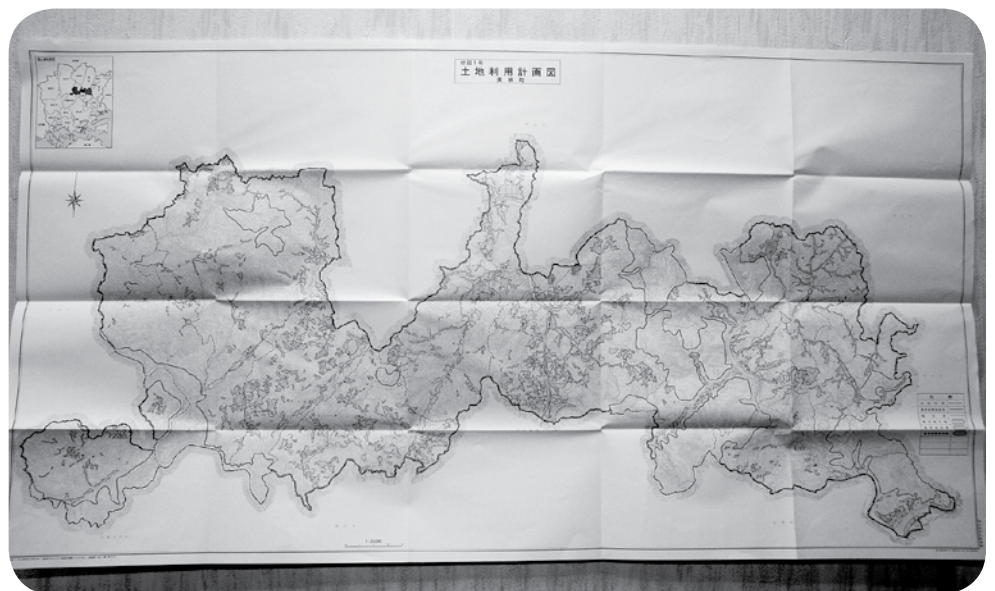
また、平成21年には農林業基本構想も作成している。

いずれも見直しが28年度であり、作成後は周知に努める。

農地基本台帳の整備はどうなっているか

問 農林業センサスが実施されている中、農地基本台帳の整備を問う。

農地基本台帳は、どこに農地があり、所有



美咲町の有効な土地利用を考える

者、耕作者は誰か、転用か耕作放棄地かなど農業政策に基本となる台帳である。

点検整備すべきと考えるが、対応はどうか。

また、農地利用増進事業での契約期限切れ

法の改正があり、農地

への連絡はどうしているか。

答 農地基本台帳は、データ管理ができていない。

平成26年4月に農地

法の改正があり、農地

の所在、地目賃借権など農地公開システムを利用し、4月から公表する。

現在、耕作放棄地、利用権設定など調査し、基本台帳を整備中である。

利用権周期の通知は、順次行っていく。

次回は、5月を予定している。

答 定本町長

農地基本台帳の整備には実態の把握が必要で、農家台帳の整備中である。

山林は、総務省補助事業で航空写真を撮り直し、森林組合を通じて実態調査をしている。

その後に農林業振興計画の作成段階に進める予定である。

政治やテロが道徳に影響するのでは

問 時代の政治状況に影響される面が強いという道徳観。

昨今のテロ、紛争の発生、武力で自衛しようとする政治など子どもたちに与える影響は大きい。

学校や家庭、地域での道徳がどうなるか危惧しているが、どのような考えか。

答 泉教育長

学校の政治教育は仕組み、歴史、時代背景など幅広く学習している。

政治への関心を高め、健全な国民として平和国家の発展に寄与するよう指導されている。

児童会、生徒会、部活動などでは、集団の中での判断で行動できる力を養うことに重点をおいている。

時事問題と道徳教育の関連は別として、政治、経済、いじめなど、道徳を通じて冷静に対応できる力を養っていくことの必要性を強く感じている。



旭・柵原総合支所業務の見直しは

質問

町民サービスのため 現状を維持する

答弁

問 旭・柵原総合支所の今後について問う。

①両総合支所とも少数精鋭で努力している。さまざまな決裁については、本庁との協議が必要とのことだが、支所にも権限を持たせることが必要ではないか。

②閉庁日の日直業務の見直しの考えは。

宿直は両支所ともに廃止され、本庁1本であるが、日直も同様にする考え、あるいは2人体制にする考えは。

③合併して10年が経ち、支所の事業課の統合を考える時期ではないか。

答 赤堀旭総合支所長
ほとんどの業務を本庁と連携を取りながら業務を進めている。日直業務も含めて、当面は現在の体制で良いと考える。

答 森廣柵原総合支所長

閉庁日にも戸籍の届けを始め、さまざまな業務があり、日直業務は必要だと考えている。

答 山本旭総合支所産業建設課長

予算の調整の仕方を本庁と協議しているのが現状である。

答 牧野柵原総合支所産業建設課長補佐

事業ごとに各地域で使える予算を本庁と協議し、地元対応がスムーズにできるようにしている。

答 畠本産業課長

本庁業務は多忙を極めており、本庁に集約という提案に賛成である。

答 矢木建設課長

本庁と支所の職員数を機構改革で再考



便利で身近な窓口業務の継続を

してはどうかと考えている。

答 山上下水道課長

本庁と支所の協力のもとでの業務遂行が望ましい。現状の総合支所方式が良いと考える。

答 稲谷こども課長

支所がなければこども課業務は進まないで現状維持が望ましい。

答 定本町長

少子・高齢化が進む中、支所であるべく業務ができるよう、総合支所方式、日直業務は続けるべきだと考えている。

宿日直の2人体制については、手当の問題も含めて検討中である。

**職員の安全も考慮した
防災体制を**

問 災害時、緊急時、特に地震の際の職員の対応をどのように考えているか。

また、職員の安全も考えれば、各地域在住職員を中心にした配備は。

答 難波総務課長

防災計画に基づき職員初動マニュアルを作成し、早期に対応できるよう検討を重ねている。

答 定本町長

人数の関係もあり他地域の職員も配備している。

**町長も支所勤務
をしてみても**

問 町長は、本庁を中心とした勤務であると思われるが、両支所に1日勤務する日を設定してはどうか。

町民と身近に話ができる機会になるのでは。

答 定本町長

いろんな機会に支所に顔を出しているが、1日支所へ勤務することも必要だと感じた。

質問

明るい通学路で 将来ある若者を守れ

答弁

今後も防犯灯の増設を 検討する

町政を問う

一般質問

小林達夫 議員



防犯灯の増設が望まれる通学路

問

26年9月定例会で、柵原中学校から栗子橋までの通学路の変更について質問したが、変更は難しいという答弁であった。

では、子どもたちを守る安全・安心な通学路をつくるため、防犯灯を増設することはできないか。

答

防犯灯と防犯灯の間隔を短くし、低い位置に防犯灯を設置することによって明るい通学路を確保することができると考えるがどうか。

木谷教育総務課長
柵原中学校の駐輪場から栗子橋間は、集落のない区間である。これまで年次的に防

犯灯を増設しており、26年度も新規に2基増設している。

また、27年1月には、吉井川筋を中心に18基をより明るいLED照明に改修している。

9月定例会終了後行った現地確認で、防犯灯の間隔が長く暗い場所も見受けられた。

今後、中学校とも相談しながら増設も検討していきたい。

問

住みよいまちづくり、若者の定住化に向けて将来ある若者を守る施策を積極的に進めてほしい。

答

定本町長
柵原中学校PTAからも同様の要望が出ていた。

現在、小中学校合わせて95基の防犯灯があり、このうち36基が中学校の通学路に設置されている。

明るいLED照明への変更、増設を随時行っていきたい。

ご存じ
ですか？

●議会の会議は全て傍聴することができます。
是非おいでください。

●議会の本会議の状況は、みさきテレビで視聴することができます。
是非ご覧ください。



平成21年6月定例会



みんなで議会を見学したよ!!

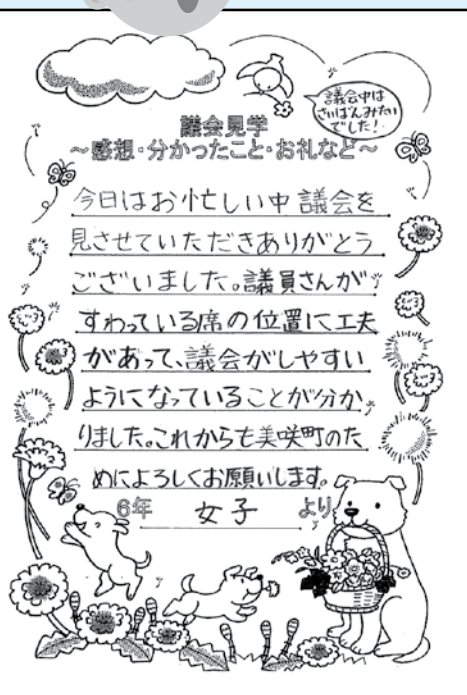
美咲中央小学校6年生(26人)が議会見学に訪れた時の感想をご紹介します。(抜粋)

議長のイスすごくフワフワしていて気持ち良かったです。

話はちょっと難しかったけどわかりました。地方創生で美咲町を元気で明るくしたいということがわかりました。

特に気になったのが「こども課」です。何をする課なのか気になります。

議会をする部屋は裁判所みたいに壁が木でできていて、いろいろな所にカメラがついていて、空気は緊張していてすごく静かでした。



地方創生について話されていて、いつもみんなのことを考えているところがすごかったです。もっと美咲町に人が増えてほしいと思いました。

住民の代表は、選挙によって選ばれていることがわかりました。

議会の内容が難しく、わからない所もありましたが、美咲町を元気に、活気ある町にしようとしていることは、とてもよくわかりました。これからも美咲町のためによりしくお願いします。

議会が始まって、議場の雰囲気すごく変わって、いろいろな議員の人が意見を話し合っていて、とてもカッコ良かったです。



平成26年度 議会だより全国コンクール 表紙写真部門：奨励賞

全国234の応募の中から全国ベスト21に選ばれました



この度、美咲町議会広報紙が、全国町村議会議長会主催の議会広報全国コンクールにおきまして、栄えある奨励賞に輝きました。この受賞は、常日頃から広報研修会へ積極的に参加し、より多くの町民皆さまに見ていただきたいとの思いで取り組んできた努力の賜物であると感じています。

奨励賞
第35号



今後、さらに皆さんに親しんでいただくるよう努めますの研さんに努めてまいります。
(貝阿彌記)

地方自治の進展に尽力

議員活動を通じて多年にわたり地方自治の進展に尽くした功績が認められ、美咲町議会から岡田議員が受賞しました。

岡山県町村議会議長会
自治功労者表彰

岡田 壽 議員



編集
後記

本町は合併して10年を迎えました。

今回の議会だよりは、27年度予算の審議を中心に編集しています。

中心となる地方創生戦略は、人口減少に歯止めをかけ、地域活性化を目指す政策です。創意工夫で美咲町の

新たな活力を引き出し、効果が上がる施策に期待してください。

美咲町議会だよりの表紙のテーマは『大きく育て美咲のこども』です。

子どもたちが大きく成長し、ふるさとである美咲町を創生して大きく育ててほしいという願いを込めています。これからも元気な笑顔を届けていきます。

(金谷記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 金谷 高子

左居 喜次

片山 剛

延原 正憲

江原 耕司